

博物館だより

No.211

令和6年6月1日

みやこ町歴史民俗博物館発行 福岡県京都郡みやこ町豊津 1122-13 TEL 0930-33-4666 FAX 0930-33-4667

博物館休館日カレンダー

2024年6月

Calendar table for June 2024 with days of the week and dates.

休館日 ※情報はR6.5.24現在

◆博物館「イチオシ」逸品レポート この展示（&収蔵資料）「ココが見どころ、ココがツボ!!」

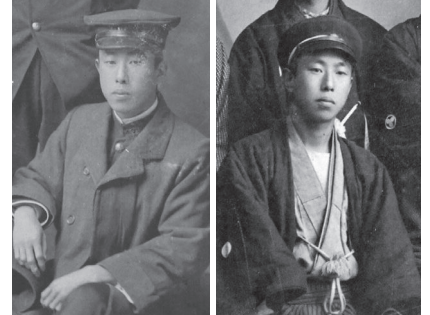
今年「みやこの先人」の一人、小宮豊隆の生誕140年の記念年です。夏目漱石作品『三四郎』のモデルにして漱石研究の大家とされる小宮ですが、漱石という稀代の文豪の輝きが強烈すぎて、残念ながら彼自身のこととはあまりよく知られていません。この記念の年、「知の巨人」ともいふべき教養の人・小宮豊隆を当館注目の資料から調べてみませんか？



▲漱石の患存署名入り「三四郎」初版本 中扉に「進呈豊隆君/漱石印」と記す

●資料解説「リアル三四郎」のアルバム 小宮は旧制豊津中学校を卒業後、一高を経て東京帝大へ進学します。この際、従兄の犬塚武夫がロンドンで漱石と友人だった縁で漱石に保証人になってもらい、以後漱石が亡くなるまで深い師弟の交流を続けました。

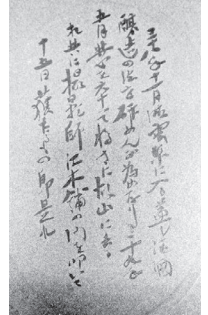
その交流の産物の最たるものが小宮をモデルとした小説『三四郎』です。青春小説として知られるこの作品は、九州の片田舎から上京した青年・小川三四郎が様々な出逢いと経験を経て成長を遂げる物語ですが、実際の小宮も小説張りの経験や小説にはない小宮オ리지ナルの体験もしており、「事実の小宮は小宮をモデルとした小説『三四郎』の主人公とは異なる人物です。」



▲右：一高寮生の頃の小宮 芯からパンカラは怪しい 左：三四郎と同じ23歳・帝大生の頃の小宮（明治40年）

●資料名 小宮豊隆資料（第2次寄贈）一括のうち ①漱石患存署名入り「三四郎」初版本 ②小宮豊隆肖像写真群（学生・青年期） ●データファイル 法量等：①1冊（菊版） ②10枚 制作年代：明治35〜42（一九〇二〜一九一〇）年 ポイント：三四郎の連載や刊行がリアルタイムで進む時期の写真 公開状況：整理中のため通常非公開

説よりも奇なり」を地で行くこともあったようです。ユニークな例としては「初対面の漱石の前であぐらかいちゃった事件」などがありますが、漱石最愛の弟子ならではのエピソードです。注目されるのは小宮が明治41年の『三四郎』の連載と同時進行で学生生活を送っていたことで、その頃の写真が残されているため『三四郎』がごくリアルに感じられます。



▲明治38年撮影写真の裏書×モ高一高では飲酒の修行をしたと記す

◆講座・教室・催し物ガイド 6月の歴史講座

- 漢詩紀行講座 6月1日（土） 9時30分〜
【古文書講座】 6月8日（土） 10時〜
【古典かな講座】 6月15日（土） 9時30分〜
【みやこ学講座】 6月22日（土） 10時〜

文化遺産ボランティア（豊み隊！）養成講座第9期参加者募集！

みやこ町の文化遺産を3つの活動①ガイド（案内）②ガイド（管理）③ワーク（調査&支援）を通じ「守り・活かし・未来へ繋ぐ」活動を行います。ヤル気と元気がある方なら町内外不問で途中からの参加もOKです。あなたも「町のお宝の魅力」を発信&ガードする取組みにご一緒しませんか？ ※6月9日（日）以降月1回程度活動。申込時に詳細を案内。 ※申込先 ☎3314666へ。



▲ガード（管理）活動の例：解説板の清掃作業（甲塚方墳）24時間無償のガイドを担う解説板をフリーニングします

5月の業務日誌から

5月1日（水）、甲塚墓地で郡長正を偲ぶ154回忌墓前法要が営まれ、館員2名が参列しました。武士道を買ったため16歳で自刃した長正の悲劇は、現在故郷の会津若松市（福島県）とみやこ町の未来を拓く交流の場に発展しています。

5月3日（金）、横瀬公民館（犀川横瀬）で横瀬神楽が奉納されました。同神楽は国の重要無形民俗文化財・豊前神楽の流儀を伝える神楽で毎年この日に奉納されています。会場には多くの観客が訪れ「神人和楽」のひと時を過ごしました。



▲神楽最終盤「岩戸」を開けようと全力を振り絞って舞う手力雄命

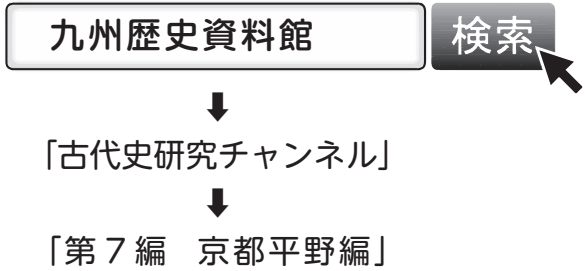


▲雨の中行われた法要には多くの参列者が香華を手向けました



みやこ町の古墳をYouTube動画でご紹介しています!

福岡県内の歴史系資料を収蔵・展示する福岡県立の「九州歴史資料館」のホームページで「古代史研究チャンネル」と題して県内の史跡や文化財を公式YouTubeチャンネルの動画で分かりやすく紹介しています。この中の「筑紫君磐井の乱の実像に迫る」というシリーズ第7編「京都平野編」の撮影が昨年度、みやこ町内の古墳を対象に行われ、この度、完成した動画が公開されることになりました。この動画は、歴史の教科書にも登場する6世紀前半頃に実在した九州最大の豪族「筑紫君磐井」が当時の中央勢力であったヤマト王権に対して起こした反乱「磐井の乱」に関する県内各地の古墳や史跡に焦点を当て、これまでの調査・研究成果をもとにまとめられたものです。第7編となる「京都平野編」では、磐井がヤマト王権軍に敗れた後、豊前に逃れ生き延びたという「筑後国風土記逸文」の記載をもとに、磐井と同時期に築造されたと考えられる扇八幡古墳（みやこ町勝山箕田）を中心に、箕田丸山古墳、橋塚古墳、綾塚古墳、甲塚方墳について、ドローンを使った空撮映像など、最新機材を用いた鮮明な画像でこれらの古墳をご紹介します。居住地域にある古墳の美しい映像と併せ、みやこ町の歴史的な重要性を再発見することができるのではないのでしょうか？是非ご視聴ください。



動画のタイトル画像（提供：九州歴史資料館）



動画の撮影風景（綾塚古墳石室内）